

清新中学校だより 清風

令和3年11月1日
第189号

相互理解の前提にあるもの

校長 江戸谷 智章

科学技術の発展に伴い、ネットを介して地球の裏側の人とも瞬時につながる時代となりました。世の中では「多文化共生」や「多様性の尊重」などの言葉があちこちで語られるようになり、お互いを理解し合うこと（相互理解）の大切さがこれまで以上に叫ばれています。

しかしその一方で、今なお国と国との衝突や摩擦に関する報道は止まることを知りません。ものの本によると、長い人類の歴史を見ても戦争や争いが無かった期間は、200年あまりしかなかったというから驚きです。

そう考えると、あらためて「お互いを理解し合う」とはどういうことなのかを考えさせられます。戦争のような大きな出来事とまではいかなくとも、一番わかり合えている身近な親子や兄弟といった間でさえも、意見や価値観の相違でぶつかり合いがあるのは承知のとおりです。



人間関係のトラブルの多くが、互いの価値観や経験値のズレから生じるということは理解できなくもありませんが、そもそも、他者を評価したり非難したりするより前に、私たちは自分自身についてどれだけのことを理解しているのかを見つめてみることも必要に思うのです。「自分の事は自分が一番よく知っている」という人もいるかも知れません。でもどうでしょう。たとえば、いきなり意見を求められて頭をかいてみたり、顔が赤くなったりと、人には様々なクセがあったりします。これはまさに自分が無意識に行動しているもので、人に言われてはじめて気づく部分でもあります。また私たちは、自分さえも思ってもいないような自分の一面を周囲から指摘されたり、自分が思っている自分と、周りが思っている自分との間にズレがあったりすることも時おり気づかされたりもします。

以前読んだ本の中に、他者を理解しようとするのであれば、まずは自分がどういった考え方をしているのか、現在の自分自身の姿を理解することが大切という考えから、『ジョハリの窓』という自己分析方法があることを知りました（注）。

この説によると、自分自身を正しくつかむには『4つの窓』があり、その中にある『盲点の窓：他人は気づいていて、あなた自身は知らないあなた』と『未知の窓：他人も自分も知らないあなた』の部分ができる限り小さくするよう努力することが大切だと言っています。つまり自分が意識していない無意識の部分、できるだけ意識できるように心を開いておくことが、人間関係を良好にし、自分を成長させる上で手がかりになるということです。

Aさんは自分はとても気が弱い人間だと思っています。けれどAさんの周りの人は彼を強情な人だと思っています。このような時、ややもするとAさんはどうして周りの人は自分を理解してくれない

【開放の窓】 自分も他人もよく知っているあなた	【盲点の窓】 他人は気づいていて、あなた自身は知らないあなた
【秘密の窓】 自分にはよく知っているが、他人には隠しているあなた	【未知の窓】 他人も自分も知らないあなた

のか思い悩んだり、時には口論になったりするケースもあるかと思えます。しかしどうでしょう、冷静に考えると、Aさんが思っている自分も、周りが思っているAさんも、実はどちらもAさん自身であるとは言えないでしょうか。自分自身が日常それほど意識していないような振る舞いや雰囲気、話し方といった言動が、周囲に影響を及ぼしていることが少なからずあるように思うのです。

確かに、他人からの思いもよらない指摘や忠告を聞き入れることは、とても勇気がいることです。もちろんすべての指摘に耳を傾ける必要はないまでも、自分のみが知る自分だけを頼りにしては、せつかくの人としての成長のチャンスを自らが閉ざしてしまうようにも思うのです。

昔よく言われた言葉に「人の顔に付いたご飯粒は指摘できても、自分の顔に付いたご飯粒は気づかない」というのがあります。自分の顔についたご飯粒を知るためには、鏡を見るなどして自分自身で絶えず確認しようとするか、また周りから指摘してもらえるような柔らかな人間関係が築かれていなくては気づきようがありません。そう考えると、互いに理解し合う関係というのは、言い換えれば、互いの強さも弱さも認めながら、共に成長し合える関係とも言えるのかも知れません。

（注）『ジョハリの窓 人間関係がよくなる心の法則』久瑠あさ美 著（朝日出版社）から一部抜粋

清学祭各部門長のことば

歌声委員長 木村 美優

私は今年初めて歌声委員会に入りました。そして委員長という役割を務めました。歌声委員会には「中学校生活ラストの清学祭合唱の部を、自分たちの手で作り上げたい」というこの思いから立候補しました。

コロナ禍で昨年の清学祭は中止となり、3年生にとっては今年が最後の機会でした。私は新型コロナウイルスに負けず合唱の部を成功させるという強い意志がありました。それは私に限らず歌声委員、3年生、学校全体も同じだったと思います。しかし、新型コロナウイルスの感染者は増え続け、学年開催という形になりました。練習ができるようになったものの、様々な制限があり、思うように動けませんでした。そんな中でも、私たち歌声委員は学年開催に向けて真剣に話し合い、知恵を出し合ってより良い歌声を作ろうとしてきました。その結果が今のクラスの歌声に現れているのではないかと思います。



本当は市民会館でみんなのいる前で歌いたかったです。しかし、今は学年開催ができることに感謝しています。世界的な脅威とも呼ばれるコロナウイルスが流行する中、学年開催も危ぶまれたはずですが、私たちは今、クラスみんなで歌うことができます。合唱の部は完全開催とまではなりませんが、このご時世、歌えるようになったことは一つの成功だと思います。そしてコロナ禍で止まっていた歌声活動を再開させる一つのきっかけになったと思います。

最後に、1・2年生の皆さん。来年の清学祭は成功させ、最高の思い出にしてください。

体育部門長 山下 翼

こんにちは体育部門長の山下翼です。先日開催された体育の部は楽しめましたか。一人一種目で、もっとやりたいという気持ちもあったかと思いますが、コロナの中で、体育委員会としても全校でより楽しめるよう放課後も何度も集まって検討を重ねてきました。



今年は一から体育の部を作るという思いで取り組んできましたが、学年練習も本格的にスタートしたのは10月に入ってから、また、縦割りの交流も限られてしまい、思うように勧めることができずとても厳しいものでした。そんな中、体育委員会は最大の力を尽くして動いてきたこともあり、体育の部が楽しめたのも体育委員のおかげだと思っています。また、その裏には、先生方やPTAの方々のおかげもあり、今年最大の体育の部ができたのだと思います。感謝の気持ちを忘れないでほしいです。

今後コロナウイルスがどうなるかわかりませんが、来年は今年以上の体育の部にして、1・2年生はよりすばらしい清学祭にし、もっともっと楽しんでほしいです。3年生は卒業まで残り少ない時間となりますが、より濃い思い出をクラスメイトと作って、楽しかったと言える中学校生活にしてほしいです。

11月の主な日程

※下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

11月

- | | | |
|-------------------------------|--|--------------------------------|
| 1日 (月) 諸活動なし | | 15日 (月) 国際教室おはなし会 諸活動なし |
| 2日 (火) 教育相談⑦
榎山地区集会所植栽 | | 16日 (火) 1年生地域講演会 |
| 3日 (水) 文化の日 | | 17日 (水) ときわぎ級ブロック交流会 |
| 4日 (木) 生徒会委員会 諸活動なし
PTA本部会 | | 18日 (木) 諸活動なし |
| 5日 (金) 生徒会認証式 諸活動なし | | 20日 (土) 市制記念日 |
| 6日 (土) 諸活動なし | | 22日 (月) 諸活動なし |
| 7日 (日) 諸活動なし | | 23日 (火) 勤労感謝の日 |
| 8日 (月) 定期試験～10日 諸活動なし | | 25日 (木) 3年生進路面談① 諸活動なし |
| 11日 (木) 諸活動なし | | 26日 (金) 3年生進路面談②
ときわぎ級読み聞かせ |
| 12日 (金) ときわぎ級読み聞かせ
生徒会中央議会 | | 29日 (月) 3年生進路面談③ 諸活動なし |
| | | 30日 (火) 3年生進路面談④ |